

家畜市場 価格の推移 (11月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重
スモール	雌	12	91.7%	257,040	5,400	90,450	60
	雄	194	96.9%	135,000	1,080	85,253	62
計	206	199	96.6%	257,040	1,080	85,556	62
F1	雌	250	92.4%	223,280	46,440	167,310	64
	雄	275	93.1%	327,240	65,880	225,123	67
計	525	487	92.8%	327,240	46,440	197,593	66
ホルス(5才) 雌	41	40	97.6%	314,280	65,880	190,554	718

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
根室	2日	324	255	78.7%	1,171,800	330,480	798,277
十勝	8日	538	416	77.3%	1,207,440	441,720	880,987
北海道	10日	108	101	93.5%	973,080	438,480	738,645
豊富	16日	298	181	60.7%	1,298,160	520,560	797,798
釧路	22日	296	205	69.3%	1,036,800	542,160	843,801
根室	23日	418	307	73.4%	1,199,880	520,560	841,109
北見	27日	446	248	55.6%	1,050,840	382,320	793,648
十勝	28日	689	458	66.5%	1,325,160	237,600	847,925
合計		3,117	2,171	69.7%	1,325,160	237,600	817,774

業務報告 (11月分)

- 1日 辞令交付式
- 2日 中国生乳販連受託販売委員会・理事会・監事会
- 2日 畜産経営安定法に係る学習会
- 2日 東部管内青年部勉強会
- 6日 第八回理事会
- 7日 全酪連購買・畜産・指導担当者会議
- 8日 山陽乳業(株)上期決算監査(九日迄)
- 8日 上期定期監査(十三日迄)
- 13日 西部ミルク会視察研修
- 13日 代表理事との定期会合・監査講評
- 14日 賀茂地域畜産研修交流会
- 17日 ときめき隊会合
- 20日 中国生乳販連理事会・監事会
- 21日 山陽乳業(株)取締役会
- 21日 中国生乳販連会員実務責任者会議
- 21日 年金委員・健康保険委員研修会
- 22日 三原市酪農振興会・世羅郡酪農振興協議会合同視察研修
- 22日 備北・南部DMS入力会
- 22日 配合飼料安定基金説明会
- 24日 西部DMS入力会
- 24日 第九回理事会
- 27日 新規就農者・就農支援者研修会
- 27日 第二回生産基盤強化対策委員会
- 27日 中国生乳販連監事会
- 28日 グリーンウインズさとやま取締役会
- 28日 全酪連若齢預託施設視察(二十九日迄)
- 28日 年末調整説明会
- 30日 酪友フォーラム(二十九日迄)
- 30日 内部監査

編集後記

▼平成二十九年も残り数日となり、新年を迎えるため年末大掃除や正月餅の準備などに大忙しの方も多いのでは無いでしょうか。

▼今年一年大変お世話になりました。

▼この一年を回顧して、皆様方にとってはこの様な年でありましたか。きっと、喜怒哀楽に包まれた年であったものと思像します。

▼広酪では、十二月に入り来年四月一日からはじまる改正畜安法のもとに新たな加工原料乳補給金制度にからむ手続きとして、地区懇談会或いは生乳出荷組合員の皆様宅を直接訪問し、新年度からの生乳受託契約の締結に向けて、事前の確認承諾書の手続き、また、生乳受託契約の内容に関して丁寧な説明を心がけての行動にあたりております。

▼広酪では、生産者である組合員から委託を受ける生乳は、全量、上部団体組織の中国生乳販連に出荷する方針を決定し、これら理由の説明をもって手続きを進めています。

▼地区懇談会に出席の組合員からは、当然「広酪一押し」ともとれる力強い契約に向けての言葉も頂戴しましたが、メガ・ギガ牧場の行く末は、どの様になるのだろうかとの心配や懸念の声も届きました。

▼経済財政諮問会議の指摘を端緒として、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法の廃止、新たな加工原料乳補給金制度のはじまり、農協法改正など目ま

■市町別生乳受託量の進捗状況(11月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	29年度累計	前年比(累計)
庄原市	832.3	22.6%	96.7%	7,061.7	96.7%
三次市	639.5	17.3%	95.0%	5,401.0	95.9%
世羅町	601.2	16.3%	101.0%	4,859.3	101.6%
北広島町	404.1	11.0%	106.2%	3,644.2	107.1%
安芸高田市	353.4	9.6%	98.5%	3,032.2	100.6%
東広島市	308.0	8.3%	97.1%	2,559.4	96.3%
府中市	200.0	5.4%	90.5%	1,687.0	96.0%
福山市	127.9	3.5%	98.1%	1,044.6	102.3%
三原市	77.8	2.1%	80.8%	640.6	81.6%
広島市	77.5	2.1%	103.6%	647.2	95.3%
呉市	49.7	1.3%	105.8%	420.6	102.9%
神石高原町	18.6	0.5%	30.4%	192.1	34.7%
合計	3,689.8	100.0%	96.7%	31,189.8	97.4%

■プール乳価(11月分) ■生乳生産量など前年同期比較(11月分)

プール乳価	111.640円
前月分プール乳価	111.526円
前月対比	100.1%

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	55戸	43.3%	210,852.6
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	72戸	56.7%	-230,659.4
合計	127戸	100.0%	-19,806.8

注)この比較は、平成29年11月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。
(廃業組合員は含まない)

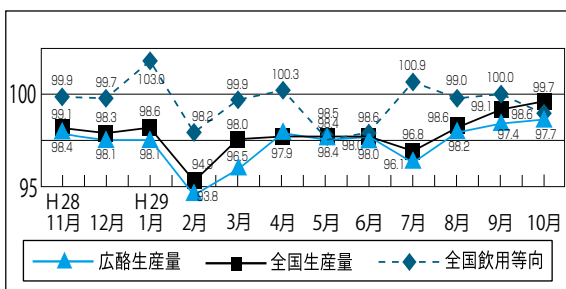
■生乳受託実績(11月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	39	12	39	37	127
生乳出荷量(ト)	1,328.3	357.6	834.9	1,169.0	3,689.8
前年同月対比(%)	96.1%	98.3%	102.6%	93.2%	96.7%
前月対比(%)	95.4%	95.6%	95.6%	95.3%	95.4%
生乳出荷累計(ト)	11,182.1	2,979.9	7,323.7	9,704.2	31,189.8
広酪構成比(%)	35.9%	9.6%	23.5%	31.1%	100.0%

■市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(10月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(ト)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	44,792	867	29.7%	51.7
2	三次市	37,253	680	24.7%	54.8
3	安芸高田市	18,032	370	11.9%	48.7
4	府中市	13,494	206	8.9%	65.5
5	北広島町	11,522	421	7.6%	27.4
6	世羅町	6,610	639	4.4%	10.3
7	福山市	6,316	125	4.2%	50.5
8	東広島市	4,994	321	3.3%	15.6
9	三原市	4,595	78	3.0%	58.9
10	広島市	1,687	82	1.1%	20.6
11	神石高原町	1,337	21	0.9%	63.7
12	呉市	316	52	0.2%	6.1
	合計	150,948	3,862	100.0%	39.5

■生乳需給の前年比推移(10月)(単位:%)



ぐるしく急展開で社会情勢は変化しております。

▼広酪では、最終的に平成三十年年度において、組合員の皆様から生産される全量の生乳を広酪に委託販売戴くことを願っておりますが、国の掲げる輸出に打って行ける等の攻めの農業、酪農家自らが自由に出荷先を選び酪農所得向上を目指すことされる自立的行動の行く末はどう様になるのかについて、様々な展開が脳裏を掠めます。

▼改めて、昨今の急激な農協改革・変革期にあつて、広酪に照準を当てて考えるとき、広酪のこれまでの組織活動・業務執行にかかる評価、また、組合員の皆様においては、広酪の存在価値など改めて考えて戴く結果になっているものと想像します。

▼先人が、先人の努力により自らの酪農経営において必要な組織として専門農協「酪農協」を組織され、今日まで組織合併や再編を繰り返して存続しております。

▼今回の制度改革は、一人一人が義務と責任を踏まえて考えるキツカケになつたような気がしておりますが、皆様はどの様に考えられますか。

▼迎える二〇一八年も、様々に解決すべき課題や困難に出くわすものと存じますが、まずは健康で明るく対応して参りたいものです。

皆さん、良い年をお迎え下さい。

(A・N)